

— “感動” が人をつくる —
Culture
Niigata



NEXT STAGE

— 情熱の行方 —

NHK交響楽団 打楽器奏者 石川達也

親子で楽しもう

新潟イベント情報

— シリーズ —

URAKATA をる

Culture Niigata

2017.09-11
vol.92

【平成29年8月25日発行】発行・編集／(公財)新潟県文化振興財団 編集・制作／(株)東朝日広告社 デザイン／磯野知也 印刷／昭栄印刷



好きな場所に行こう。
好きな時に行こう。

JAマイカーローン

耕そう、大地と地域の未来。



NEXT STAGE

—情熱の行方—

NHK交響楽団 打楽器奏者
石川達也 Tatsuya Ishikawa

これからの舞台芸術を担う、新潟ゆかりのアーティストを紹介する「NEXT STAGE」今回は新潟市出身の石川達也さん。NHK交響楽団打楽器奏者として活躍している。これまでの歩みと所属するN響への思いを伺った。

どんなに体力的にきつく感じてても 20歳で覚えた奏法を60歳になるまで変えない それが打楽器奏者としての僕の意地

—まずは子どもの頃のことを教えてください。

父が中学校の音楽教師だったこともあり、家には吹奏楽のレコードや音楽資料がたくさんありました。ただ、子どもの頃は全く興味がなく、姉と妹はピアノを習っていたのですが、私は何もやらず、茫洋(ぼうよう)とした少年時代を過ごしていました。



高校の吹奏楽部時代

—そんな石川さんが音楽に目覚めたのは?

打楽器との最初の出会いは新潟の地元田家(たい)のお祭りで山車(か)にのって演奏したお囃子(ばやし)体験です。同じ頃、同級生に誘われて鼓笛隊(こふてい)に入りました。楽譜は読めないけれど、あまりに熱心だったので太鼓(たいこ)だったらお囃子(ばやし)でも経験(けいけん)したし、できるかなと。いざ入って見よう見まねでやってみたら、これが意外に面白くて。そのまま中学校でも brass band(ブラスバンド)部に入部(にゅうぶ)。ふだんはあまり自己主張(じこしゅちょう)しないほうなのですが、このときは「打楽器(たいがく)をやりたい」と強く意思表示(いひじょうひょうし)した記憶(きおく)があります。

—打楽器のどんなところが面白かったんですか?

なかなか言葉で説明(せつめい)は難しいのですが、みんなでそれぞれの音を奏(そう)でて一つの曲(きょく)として演奏(えんそう)する中で、自分がリズム(リズム)を担当(たんとう)しているっていうのが、ひたすら心地(こころ)よかったです。高校(こうこう)でも吹奏楽部(すいそうがくぶ)に入って続け(つづ)けたくらいだから本当に楽しかったんでしょうね。

—音楽大学へ進んだのはどうしてだったんですか?

高1(こういち)の夏(なつ)、この先(これより)、何を(なに)して生きていけばいいのか悩み(なや)み、「勉強(べんきょう)はどれも好き(す)きじゃない。今(いま)一番(いちばん)楽しいのは音

楽(がく)。これを生(な)かして音楽(おんがく)の大学(だいがく)へ行(い)けな(な)いだろうか」と思い、父(ちち)に相談(さうだん)しました。案(あん)の定(じやう)、「何を(なに)今(いま)さら」と驚(おどろ)かれましたが、音大(おんたい)を目指すならピアノと楽譜(がく)を読む力(ちから)は最低限(さいていげん)、身につけないとダメ(だ)だと諭(さと)され、急(いそ)ぎょピアノのレッスン(れっしん)を開始(かいし)。そして、1年(いちねん)後の高2(こうに)の夏(なつ)、「やはり打楽器(たいがく)を習(まな)いたい」と父(ちち)に頼(たの)んで、先生(せんせい)を紹介(しょうかい)してもらってレッスン(れっしん)が始(はじ)まりました。そして、武蔵野音大(むさしのおんたい)の打楽器科(たいがくか)を受験(じゅくけん)し、何とか入学(にゅうがく)できたという次第(しだい)です。

「右手と左手の音が違うよ」と 言われ大学4年間はひたすら 基礎打ちの練習

—大学では元NHK交響楽団打楽器奏者として知られる小林美隆氏に師事。どんなことを学びましたか?

実は天才(てんたい)肌のす(す)ごい奏者(そうしや)だ(だ)というのを当初(ちんしょ)知ら(し)らなかつた(な)んです。偶然(ぐうぜん)にも小林先生(こばやしせんせい)に就(しゆ)くことができた(できた)のは本当にラッキー(ラッキー)でした。といっても「教(お)えない先生(せんせい)で有名(ゆうめい)で事細(ことこま)かにアドバイ(あ)ドバイス(さ)してくれる(する)ことはなく、「基礎(きそ)をやりなさい」と言う(い)うだけ。だから、小太鼓(こたいこ)を両手(りやうて)で交互(かぎあ)に打(う)つ「一つ打ち」と、二回(にかい)ずつ交互(かぎあ)に打(う)つ「二つ打ち」という打楽器(たいがく)の基本(きほん)をひたすら練習(れんしゆ)して(して)いました。それでも先生(せんせい)には「右手(みぎて)と左手(ひだりて)の音(ね)が違(ちが)うよ」と毎回(まいかい)注意(ちゆい)されて。そう(そう)こうして(して)いるうちに学生時代(がくせいじだい)もあつ(あ)つという間(かん)に過(す)ぎて(て)しまった(ま)た気が(き)します。

—在学中に東京フィルハーモニー交響楽団へ入ったのは?

念願(ねんげん)の音大(おんたい)へ入(い)れたもの(もの)、「音大(おんたい)出(い)たら、どんな(なん)仕事(しごと)に就(しゆ)けるのか」という(いう)のは全然(ぜんぜん)分(わ)かって(て)いません(な)でした。ただ、小林先生(こばやしせんせい)から昔(むかし)のN響(エフエヌ)でのエピソード(エピソード)を聞(き)いたり、まわり(まわり)から情報(じふほう)を得(え)たりする(する)うちに、オーケストラ(オーケストラ)の団員(だんいん)という職業(しごく)選択(せんたく)もある(ある)んだ(んだ)な(な)という(いう)のが分(わ)かって(て)きた(き)たんです。ちょうど卒業(そつぎやく)の年(ねん)が、父(ちち)の定年(じやうねん)と重(おも)なり仕送(しほう)りもなくなる(なくなる)タイミング(タイミング)だったので、就職(しゅうしん)をちゃん(ちゃん)としなければ(なければ)という(いう)思い(おも)いもあり、大学3年(だいがくさんねん)の頃(ころ)から、いろいろ(いろいろ)なオーケストラ(オーケストラ)の募集(ぼしゆ)をチェッ(che)ックする(する)ようになって(な)っていました。オーケストラ(オーケストラ)はあく(あく)まで欠員募集(けいいんぼしゆ)募集(ぼしゆ)。10年(じゅうねん)以上(いじょう)募集(ぼしゆ)が出(い)ない(ない)ことも往々(むぎむぎ)にして(して)あるので、募集(ぼしゆ)広告(こうこく)を見つ(み)ける(ける)たびに受(う)けては落(お)ちたり(たり)した(した)のですが、運良(うんりやう)く東フィル(とうふる)には受(う)かる(かる)ことが(こと)できました。それで大学4年(だいがくしよんねん)の10月(じゅうがつ)から3カ月(さんかげつ)の試用期間(しゆようきかん)を経て、翌(す)月(げつ)から本採用(ほんさいよう)に。そこから足(あ)りか(か)け8年(はちねん)、在籍(ざいせき)させて(て)もら(もら)いました。

—東フィル在籍中にベルリン留学もされています。

打楽器(たいがく)って単体(たんたい)では成(な)り立(た)つ(た)ない(ない)楽器(がくぎ)。あく(あく)までオーケストラ(オーケストラ)の一部(いっぶ)なん(なん)ですよ(よ)。その中(なか)でどう自分(じぶん)が演奏(えんそう)したらいい(いい)のか、東フィル(とうふる)で経験(けいけん)を重ね(か)ねる(る)中(なか)で、もっ(も)っといろいろ(いろいろ)深く(ふかく)勉強(べんきょう)して(して)さらにスキル(スキル)を高(たか)めたく(たか)な(な)って(て)しま(しま)い、ベルリン(ベルリン)に留(りゅう)学(がく)し(し)ました。でも、この留(りゅう)学(がく)のお(お)かげ(げ)で自分(じぶん)が理想(りやうきやう)とする音(ね)がつか(つか)めた(めた)気が(き)します。

—それはどんな音でしょうか?

大学時代(だいがくじだい)の恩師(おんし)、小林先生(こばやしせんせい)がいつか話(わ)してくれ(くれ)た「無理(無理)して頑張(がんぱ)って出(い)した音(ね)は観客(くわんかく)の心(こころ)に届(と)かない。私(わたし)が自然(しぜん)な気持(きもち)で演奏(えんそう)したらこう(こう)なり(なり)ました(した)って(て)いう音(ね)がいい(いい)んですよ(よ)」という言(い)言葉(ことば)に立(た)ち返(かえ)った(た)という(いう)か、そう(そう)いう音(ね)こそま(ま)さに僕(ぼく)にと(と)って(て)の理想(りやうきやう)だ(だ)な(な)と気づ(き)かされた(ら)れ(れ)た(た)という(いう)感じ(かんじ)です。



経験値が上がるほど 怖いものが増えて緊張

—2002年にNHK交響楽団へ移籍し、今年で15年。打楽器奏者としてどんな日々を送っていますか?

NHKホール(エフエヌホール)での定期演奏会(ていぎえんそうかい)、地方公演(ちほうこうえん)など(など)を含(こ)め年間(ねんかん)120回(にじゅうにじゅう)くらい(くらい)演奏会(えんそうかい)があ(あ)ります(る)。例(れい)え(え)ば、2日(ふたにち)間の演奏会(えんそうかい)だ(だ)ったら(ら)りハーサル(ハーサル)が3日(さんにち)。つまり本番(ほんばん)と練習(れんしゆ)の繰(くり)返し(かへ)しです(す)。ただ、すべての演奏会(えんそうかい)に出(い)るわけ(わけ)ではあ(あ)りませ(ませ)ん。自宅待機(じたくたいき)の日(ひ)もあり、その場合(そのばあい)は自主練(じしゆれん)したり(たり)して(して)います(す)ね。

—打楽器の中でも得意な楽器は何ですか?

打楽器(たいがく)には大太鼓(おほたいこ)、小太鼓(こたいこ)、シンバル(シンバル)、ティンパニ(ティンパニ)など(など)があ(あ)りますが、わり(わり)と何(なに)でも大丈夫(だいじやうぶ)です(す)。それ(それ)とシロフォン(シロフォン)などの鍵盤(かんばん)打楽器(たいがく)があ(あ)りますが、石川(いしかわ)は鍵盤(かんばん)が苦手(くるて)なのは他(ほか)の団員(だんいん)も分(わ)か(か)っている(る)のであ(あ)まりまわ(まわ)ってき(き)ませ(ませ)ん(笑)。

—演奏の本番中はどんなことに気を配っていますか？

打楽器はオーケストラの一番後ろ、指揮者から一番遠いところにいます。だからこそ、全体を気にしつつ、特に指揮者と指揮者のまわりの弦楽四重奏の演奏を把握するように心がけています。打楽器はそもそも音量が大きいものが多いので、しっかり音色を把握していないとバランスの良い音を出せないのです。でも、本当にうまくいったときってほとんど意識することもなく、気づいたら演奏が終わっていたという感じなんですよね。

—失敗したことは？

恥ずかしながらしょっちゅうです(笑)。タイミングを外したり、演奏すべき瞬間に大事な音を落としてしまったり。「お前、何やってんだ!」とセルフツッコミすることが多いです。最近になってますます緊張するようになって…。

—今でも緊張することがあるんですか？

ありますよ。っていうか、20代前半は心臓に毛が生えていて、全然緊張しなかったんです。でも、経験を重ねるにしたがってむしろどんどん怖いものが増えていって。たぶん、打楽器奏者になって今が一番緊張していると思います。

N響の演奏をぜひ新潟の人たちにも聴いてほしい

—今後の夢または目標を教えてください。

N響に入団できた時点ですでに夢はかなったようなものなのでこのままずっと演奏し続けることが目標ですね。ただ、今年45歳で体力的にだんだんしんどくなっているのは事実。今年5月から6月にかけて、ひたすらシンバル担当の“シンバル月間”があったのですが正直、ちょっとつらかった。そんなに頑張らずに歳をとったなりの奏法をすればいいのですが、若いときに覚えた奏法をなかなか変えられないというか、変えたくないという勝手な意地がありまして。だから、そうですね、60歳まで20歳のときに覚えた奏法を続けるというのが目標でしょうか。

—石川さんがそこまで感じているN響の魅力とは？

やはり一人ひとりの団員のスキルが非常に高いこと。日本のオーケストラの草分けとしての伝統があるのでプロ意識もすごい。その中に身を置き、日々刺激を受けながら演奏できることに在籍15年経った今も日々幸せを感じています。

—では、最後に新潟の人たちにメッセージを。

新潟弁圏内は本当に居心地良く大好きです。一気に緊張の糸が切れてしまうほどリラックスできます。そんな僕が所属するN響新潟公演の際は、ぜひ足をお運びください。新潟市秋葉区文化会館ではこけら落としとその翌年に室内楽のコンサートを行いました。こちらもまた企画を考えていますので、その時は是非聴きにいらしてください。

協力：(公財)NHK交響楽団、(株)NHKプロモーション



今年3月のN響ツアー時にベルリンで師事したフランツ・シンドルベック氏との一枚(ベルリンのフィルハーモニーにて)

Question & Answer

Q. 休日の過ごし方は？

犬の散歩、家事、あるいはひたすら寝るなど、無駄な時間の過ごし方で終わることが結構ありますね(笑)。

Q. ハマっているものは？

昨年、N響公演で行った台湾で美味しいプーアル茶と出会い、以来、プーアル茶の入れ方に凝っています。今もお茶は台湾から取り寄せています。

Q. 一番、リラックスするのはどんなとき？

本番が終わり、「明日は休みだ!」って思うときですね。

Q. 好きな音楽は？

気に入ったものはクラシックにこだわらず、ジャズでも沖縄民謡でも何でも。ただ、演奏会はオーケストラを聴きに行くことが多いです。

Q. ご自身の性格を自己分析すると？

暗くもないけど、明るくもないです。「A型だから細かいね」と言われるとムツとして、わざとちゃらんぼらんにした(笑)。人見知りで引っ込み思案なところは新潟県人だからだと思います。



石川達也

新潟市生まれ。県立新潟高校卒業後、武蔵野音楽大学へ進学。元NHK交響楽団打楽器奏者・小林美隆氏に師事。1994年東京フィルハーモニー交響楽団に入団し2001年まで在籍。1996年～97年ベルリンへ留学し、フランツ・シンドルベック氏に師事。2002年NHK交響楽団へ入団。

公演情報

N響メンバーによる弦楽四重奏

12/16(土) 燕市文化会館

12/17(日) 柏崎市文化会館アルフォーレ

※詳しくはP10をご覧ください



イベントなど

秘密結社鷹の爪 THE PLANETARIUM ～ジュラジュラ!ジュラシクトラベル

9/10(日)まで 新潟県立自然科学館

【上映時間】平日 11:00/15:00 土日祝 10:30/12:30/13:30
(プラネタリウム券売は上映5分前まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日)



「良質な世界征服は、良質の眠りから!」というスローガンを掲げ、鷹の爪団は太古の恐竜時代へタイムワープ。親子でお楽しみ下さい!

料金

一般 210円 小・中学生 100円
※別途入館料が必要(一般 570円 小・中学生 100円)

次回プラネタリウム秋の番組
「星の恋人～ほこしい君と夜空の記憶～」
9/16(土)～12/17(日)

公募で集められた実話を元に実写ドラマ化されたファンタジープラネタリウム。4つの季節を巡る愛をテーマにした温かい作品です。

主催・お問合せ

新潟県立自然科学館 025-283-3331

イベントなど

助成事業

ハロー!ブックス2017

9/17(日)・9/18(月・祝) 各日9:00～16:00



旧川茂小学校

山奥の廃校校舎が「学校」として復活!2日限りの「本の学校」に変身します。講師に本の世界の専門家やアーティストを迎え、ライブ授業や展示、ワークショップなどを行います。

講師:南伸坊(イラストレーター)、100% ORANGE(イラストレーター)、チャンキー松本(絵本作家)、いぬんこ(イラストレーター) 他

料金

1日券 一般 1,200円 高校生以下 700円
※3歳以下入場無料

主催・お問合せ

ハロー!ブックス実行委員会
080-5476-9397

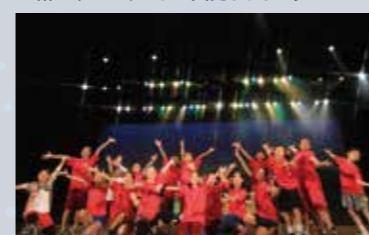
ミュージカル・演劇・舞踊

キッズ・ミュージカル魚沼産☆夢ひかり 第12回公演「ピーターパン」うおぬまバージョン

9/17(日) ①13:30 ②17:30・9/18(月・祝) 11:30

魚沼市小出郷文化会館

毎年秋に行っている魚沼産☆夢ひかりの本公演も今年で12回目となりました!そんな夢ひかりの今年の演目は「ピーターパン」です。誰もが知っているあのピーターパンを、うおぬまバージョンでお届けします!きらきら輝く子どもたちと一緒にネバーランドに出发しましょう!



料金

全席自由 一般 2,000円
小・中・高校生 1,000円
(当日各300円増)

お問合せ

魚沼市小出郷文化会館
025-792-8811

【主催】魚沼産☆夢ひかり会

美術展・写真展

助成事業

八色の森の美術展+八色の森の子ども 絵画展2017—未来に繋ぐ絵画考—

10/8(日)～11/21(火)

池田記念美術館

9:00～17:00

(入館は16:30まで) 水曜休館

国内外で活躍する現代アーティスト30名による「八色の森美術展」約60点と地元小学生による「八色の森の子ども絵画展」応募の抽象画展を同時開催!プロと子供たちの作品を同時に鑑賞し、絵画の未来について考えてみませんか。



大嶋彰 «海へ—09F» 2009年 山田幸志 «Magic Hour—道標時—069» 2016年

料金

一般 500円 高校生以下 無料

お問合せ

池田記念美術館 025-780-4080

【主催】(公財)池田記念スポーツ文化財団

新潟イベント情報

県内で行う様々な催物をお届けします。
会場に足を踏み入れると、そこは別世界。
是非、体感してみてください。

「新潟イベント情報」への掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。
次号vol.93は、11月下旬発行予定です。10/9(月・祝)までに、12月～2月の催物情報をお寄せください。

(公財)新潟県文化振興財団 事業課「カルチャーにいがた」係

TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818 E-mail jigyou@niigata-bunka.jp

※【助成事業】は(公財)新潟県文化振興財団助成事業です。

※主催者等の都合により、内容等が変更になる場合があります。また、未就学児は入場不可場合があります。☺️【託児あり】の公演には託児室を設置します。(要予約) 詳細については、各問い合わせ先へご確認ください。

ホームページ「新潟文化物語」にも各種催物情報を掲載しています。
掲載をご希望の方はホームページ上から登録をお願いします。

新潟文化物語 検索

分野別アイコン コンサート ミュージカル・演劇・舞踊 古典・伝統 美術展・写真展 イベントなど

ミュージカル・演劇・舞踊

助成事業

ながおか映画祭22周年合同企画公演
アケルナル～星の願い、夢の音色～

9/15(金) 19:00・9/16(土) 14:30
長岡リリックホール コンサートホール

「命」をテーマにしたこの作品は、「はくれ刑事純情派」など多数の脚本を手掛けている、石原武龍氏に執筆を依頼した完全オリジナル作品です。この作品を持って新潟初の学校公演(旅公演)団体を作り、演劇を通じて新たな自殺予防対策の一つとなる活動していきます。

脚本:石原武龍
演出:酒巻蒼洋
出演:飯塚陽、井熊未来、高田遼太郎、矢沢祐太、和田淳也、Hanna、小林へろ、たべひろのぶ



料金 全席自由 3,000円(当日500円増) 中学生以下 無料
ながおか映画祭鑑賞券付き

主催 お問合せ ながおか映画祭アケルナル実行委員会 080-2059-7049(三浦)

コンサート

助成事業

上越交響楽団 創立45周年記念
第79回定期演奏会

9/17(日) 14:00 上越文化会館 大ホール

楽団創立45周年記念事業として、普段お目にかかれないオルガンを使用したサン＝サーンスの交響曲を演奏いたします。ご期待ください!

出演:長谷川正規(指揮)、三溝健一(コンサートマスター)
曲目:オッフエンバック/喜歌劇「美しきエレース」序曲、マスネ/組曲第4番「絵のような風景」、サン＝サーンス/交響曲第3番「オルガン付き」



料金 全席自由 一般 1,000円 高校生以下 無料

主催 お問合せ 上越交響楽団 090-1606-1254(茨木)

コンサート

『木の温もりの音楽』と映像のコラボレーションコンサート
風景旋律 vol.9 ちー散歩

9/18(月・祝) ①14:00 ②17:00
りゅーとびあ スタジオA

スケールの違う雄大な風景、足元に花開く小さな命、そして「やまごはん」のおいしさにほろろ大きな笑顔、ちーさんの見る風景、ちーさんのいる風景を、木の温もりを持つ楽器の音色で彩ります。

出演:市橋靖子(フルート)、川崎祥子(ピアノ)
写真:高橋千尋(やまさんぼひと)



料金 全席自由 2,000円(当日500円増)

主催 お問合せ 木の温もりの音楽事務局 080-4511-7494

古典・伝統

「座学+実演」で楽しむ入門講座。第1弾は今、ブームの『落語』!
Myoko Pavilion vol.1「落語入門」

9/24(日) 14:00 新井総合コミュニティセンター 大会議室

世界有数の演劇専門総合博物館「エンバク」気鋭の研究者・宮先生による落語愛あふれる解説と、爆笑派・本格派として人気が高い二人の期待の若手落語家による落語実演のセット公演をたっぷり3時間!

出演:桂宮治、入船亭小辰、宮信明(早稲田大学演劇博物館)



料金 全席自由 1,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 妙高市文化ホール 0255-72-9411

【主催】(公財)妙高文化振興事業団

コンサート

助成事業

マイオータムコンサート 2017

9/24(日) 16:00

魚沼市小出郷文化会館

ヴァイオリン、ピアノ、コントラバスのトリオで織り成す爽やかな秋の風のような音楽をお届けします。魚沼の昔語りとクラシックのコラボレーションに合唱も加わり、ステージを華やかに彩ります。どうぞご期待ください。

出演:河村典子(ヴァイオリン)、志田梨花子(ピアノ)、白土文雄(コントラバス)、魚沼昔ばなしの会(語り)、笹舟混声合唱団
曲目:モーツァルト/ピアノトリオKv.502、対馬時男/五兵と雪女 他



料金 全席自由 一般 2,000円(当日500円増) 小中・高校生 500円

主催 お問合せ うおぬまマイオータムコンサート2017実行委員会 090-2023-8325(志田)

コンサート

田中彩子 ソプラノ・リサイタル2017
～美しきウィーンとコロラトゥーラ～

10/9(月・祝) 15:00

長岡リリックホール
コンサートホール

類まれなるコロラトゥーラの才能をもち、22歳でスイス・ベルンの州立歌劇場において「フィガロの結婚」で同劇場では日本人初、最年少での歌劇場デビューで大きな話題を集めたソプラノ歌手・田中彩子の新潟初公演です。

出演:田中彩子(ソプラノ)、加藤昌則(ピアノ)
曲目:ヨハン・シュトラウスII/美しき青きドナウ、モーツァルト/アヴェ・ヴェルム・コルプス 他(予定)



料金 全席指定 4,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催 お問合せ (公財)長岡市芸術文化振興財団 0258-29-7715

コンサート

託児あり

平成29年度全国共同制作プロジェクト
ブッチーニ 歌劇《トスカ》

10/15(日) 14:00

りゅーとびあ コンサートホール

カンヌ国際映画祭でグランプリを受賞するなど国際的に活躍する映画監督・河瀬直美がオペラ初演出。映像を駆使し、河瀬オリジナルの解釈による全く新しい『トスカ』。初演となる新潟でぜひ歴史的瞬間にお立会いください!

出演:河瀬直美 指揮:大勝秀也
出演:ルイザ・アルブレヒトヴァ(トスカ)、アレクサンドル・バディア(カヴァラドッシ)、三浦克次(堂守) 他
管弦楽:オーケストラ・アンサンブル金沢



料金 全席指定 S席 12,000円 A席 8,000円 B席 5,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ りゅーとびあチケット専用ダイヤル 025-224-5521

【主催】(公財)新潟市芸術文化振興財団

コンサート

助成事業

新潟の宝第一弾 佐渡の能舞台から
高橋竹山津軽三味線コンサート

9/26(火) 18:00

佐渡椎崎諏訪神社能舞台

糸魚川に在住の二代目高橋竹山による津軽三味線コンサートが佐渡の能舞台で開催されます!津軽三味線や佐渡おけさのルーツなど楽しいお話も盛りだくさん。ご期待ください。
出演:高橋竹山(三味線)



関連イベント

ワークショップ

9/26(火) 17:00 参加費 500円
講師:高橋竹山(民謡、お囃子、三味線等指導)

料金 一般 2,000円(当日500円増)

主催 お問合せ 新潟の宝実行委員会 090-5997-9512(斎藤)

イベントなど

助成事業

上越市民芸能祭
「高田公園オーレンブラザこけら落とし公演」

10/9(月・祝) 11:00 高田公園オーレンブラザ

新複合施設がこの9月に上越高田にオープンします!高田公園の象徴「桜」と「蓮」から名付けられた新会館でのこけら落とし公演。上越市内で活躍する様々な分野の市民団体が一堂に会して、日頃の練習の成果を発揮します。

<第一部>合唱、古典芸能部門
<第二部>洋舞、よさこい部門
記念式典
<第三部>民謡・民舞、フラダンス部門



料金 入場無料

お問合せ 上越市教育委員会社会教育課 025-545-9245

【主催】上越市民芸能祭協議会、上越市

古典・伝統

託児あり

柏崎古典フェスティバル2017
アルフォーレ特選寄席 人間国宝 柳家小三治 登場

11/5(日) 14:00

柏崎市文化会館アルフォーレ

東西落語界において唯一の存在「人間国宝」柳家小三治の出演に加えて、重鎮・柳家権太楼と小三治一門の筆頭・柳家げ治、若手人気の実力派・桃月庵白酒が揃って古典落語の名作を口演。「伝統と笑い」の王道、そして真髄をたっぷりとお楽しみください。

出演:柳家小三治、柳家権太楼、柳家げ治、桃月庵白酒、柳家ほたる 他



料金 全席指定 3,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 柏崎市文化会館アルフォーレ 0257-21-0010

【主催】柏崎市文化会館アルフォーレ、古典を活かした柏崎地域活性化事業実行委員会

古典・伝統 助成事業

伝統芸能を伝承する集い「吟舞の祭典」

11/23(木・祝) 12:10 長岡リリックホール シアター

県内最大級の吟舞の祭典が開催されます!午前中に開かれるコンクールの入賞者も加わり、出演者総勢230名にも及ぶステージはまさに圧巻です。

演出:オープニング 悠久太鼓
龍虎「謙信と信玄」
企画吟「西郷どん」
ふるさと民謡(相川音頭)
米百俵・安宅の関 他

関連イベント
新潟県知事杯争奪戦(独吟・合吟)
11/23(木・祝) 9:30 (要申込)

料 金	一般 1,000円
主 催 お問合せ	伝統芸能継承詩吟剣詩舞連盟 0256-35-8117(近藤)

コンサート

第33回ブルーノートジャズオーケストラ コンサート
「ジャズでめぐる世界の旅」

11/25(土) 18:30
長岡リリックホール
コンサートホール

長岡を拠点に活動を続ける本格派アマチュアバンド、BLUE NOTE Jazz Orchestra。今年は、日本～アメリカ～ヨーロッパ～アジアと、世界各地にちなんだジャズの名曲をお贈りします。一緒に楽しく世界を旅してみませんか。

出演:BLUE NOTE Jazz Orchestra
曲目:サンロード・トラベラーズ、オ・ソレ・ミオ、ナイト・イン・チュニジア

関連イベント
BLUE NOTE 33rd JAZZ ORCHE CONCERT
2017.11.25 sat

料 金	全席自由 一般 1,000円(当日200円増) 中学生以下 無料
お問合せ	音食(ねじき) 0258-36-7655(荒木)

【主催】BLUE NOTE Jazz Orchestra

川中島の戦いー上杉謙信と武田信玄ー

9/16(土)～10/29(日) 新潟県立歴史博物館
9:30～17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日)

越後の上杉謙信と甲斐の武田信玄が、北信濃をめぐって繰り広げた「川中島の戦い」は、越後・甲斐の武将たちに大きな影響を及ぼしました。さまざまなゆかりの品が伝わり、草双紙や錦絵の題材ともなって広まりました。本展では「川中島の戦い」について、その実際とのちの伝承を紹介します。

関連イベント
講演「信濃からみた川中島合戦」
9/24(日) 13:30 定員150名(要申込)
講師:村石正行氏(長野県立歴史館学芸員)
講演「川中島合戦はどのように伝えられたか」
10/22(日) 13:30 定員150名(要申込)
講師:石川博氏(慶台甲府小・中・高 高校指導員)

関連イベント
記念講演会「萬鐵五郎「近代」を越えて生きた画家」
10/9(月・祝) 14:00 聴講無料(申込不要)
講師:水沢勉氏(神奈川県立近代美術館 館長)
美術鑑賞講座「画家・萬鐵五郎への視点ー藤田嗣治とくらべてみる」
10/28(土) 14:00 聴講無料(申込不要)
講師:澤田佳三(新潟県立万代島美術館 業務課課長代理)

料 金	一般 820円 高校・大学生 500円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	新潟県立歴史博物館 0258-47-6130

没後90年 萬鐵五郎展

9/16(土)～11/19(日) 新潟県立近代美術館
9:00～17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日)

萬鐵五郎(1885-1927)は個性派と呼ばれる芸術家を多数輩出した大正時代において、ひときわ特異な才能を輝かせた画家として知られています。本展は没後90年を記念して開催する20年振りとなる展覧会であり、重要文化財を含む作品及び資料約400点を紹介する大規模な回顧展です。

関連イベント
記念講演会「萬鐵五郎「近代」を越えて生きた画家」
10/9(月・祝) 14:00 聴講無料(申込不要)
講師:水沢勉氏(神奈川県立近代美術館 館長)
美術鑑賞講座「画家・萬鐵五郎への視点ー藤田嗣治とくらべてみる」
10/28(土) 14:00 聴講無料(申込不要)
講師:澤田佳三(新潟県立万代島美術館 業務課課長代理)

料 金	一般 1,200円 高校・大学生 1,000円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	新潟県立近代美術館 0258-28-4111

古典・伝統 託児あり 佐渡公演 9/15(金) 発売開始

鼓童 打男DADAN 2017

11/27(月) 18:30 新潟県民会館 大ホール
11/30(木) 18:30 アミューズメント佐渡

鼓童メンバーの選りすぐられた男性奏者が、ただひたすら叩く、叩く、叩く!生命の限りを尽くして太鼓を打ち鳴らし、疾走する120分です。2009年の初演以来、進化を続ける舞台の最新版をどうぞご堪能ください。

演出:坂東玉三郎
出演:鼓童

料 金	新潟公演 全席指定 S席 6,000円 A席 5,000円 佐渡公演 全席指定 S席 5,000円 A席 4,000円
お問合せ	新潟公演 新潟県民会館 025-228-4481 佐渡公演 鼓童チケットサービス 0259-86-2330

※未就学児の入場はご遠慮ください。

【主催】新潟公演:TENYテレビ新潟、(公財)新潟市芸術文化振興財団 佐渡公演:(株)北前船

コンサート

越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館
「段十ろう」オープン!

「まち」と「ひと」を芸術・文化でつなぐにぎわい拠点」をコンセプトに、越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館が「段十ろう」の愛称で11/3に複合施設としてオープンします。ぜひ足をお運びください。

開館時間 9:00～22:00 毎月第2、第4月曜休館
施設 1F:ホール(700席)、講堂、練習室 他
2F:多目的スペース、雁木ギャラリー 他
交通案内 車:関越自動車道「越後川口IC」から30分
電車:JR十日町駅から徒歩15分
〒948-0083 十日町市本町1丁目上508-2

開館記念イベント
高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト
Best Classics Harmony
12/9(土) 14:00 全席指定 4,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ	段十ろう 025-757-5011
------	-------------------

高橋まゆみ人形展 ～ようこそ 心のふるさとへ～

9/16(土)～11/19(日) 長岡市栃尾美術館
9:00～17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日)

長野県飯山市の人形作家、高橋まゆみの作品展です。だれもが懐かしさを感じるふるさとの原風景を背景に、そこで暮らす人々の日常の姿を郷愁ある人形作品で紹介いたします。

料 金	一般 500円 高校・大学生 250円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	長岡市栃尾美術館 0258-53-6300

第3回 アール・ブリュット展 in 上越 助成事業

11/18(土)～11/23(木・祝)
町家交流館高田小町 警女ミュージアム高田
旧今井染物屋 各館9:00～17:00

※ただし、警女ミュージアム高田、旧今井染物屋は11/18、19の2日間のみ
全国の障がいのある方の表現作品を展示する「アール・ブリュット展」。上越での開催は今年で3回目を迎えます。障がいがあっても、その可能性を発揮し、自分らしく生きていく作家たち。およそ300点の作品を3会場にて同時展示です!

関連イベント
参加型展示会ワークショップ
8/25(金)～12/8(金) 全6回
参加型で一人ひとりが大事にしているモノを展示します。

料 金	入場無料
主 催 お問合せ	社会福祉法人 みんなでいきる 025-530-7264

美術展・写真展

石川直樹 この星の光の地図を写す

9/24(日)まで 新潟市美術館
9:30～18:00 (券売は17:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日)

世界各地を旅し、人類学・民俗学などの観点を取り入れつつ、独自のスタイルで写真を撮り続けている石川直樹。本展では冒険から生まれた代表作はもちろん、日本列島の島々を捉えた「ARCHIPELAGO」シリーズや、新潟の自然をとらえた「潟と里山」シリーズまで総合的に紹介します。

関連イベント
美術講座「3・11以降の写真」
9/16(土) 14:00 参加無料(申込不要) 先着100名
講師:荒井直美(新潟市美術館 学芸員)

料 金	一般 1,000円 高校・大学生 800円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	新潟市美術館 025-223-1622

新潟市新津美術館開館20年・新潟日報140年・NST開局50周年記念
興福寺中金堂再建・法相柱柱絵完成記念
興福寺の寺宝と畠中光享展

9/9(土)～10/15(日) 新潟市新津美術館
10:00～17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日) ただし、10/2は開館

幾多の戦乱や災害の中で堂塔の焼失と再建を繰り返しながら、優れた仏教美術を育み守ってきた、創建1300年を越す奈良の法相宗大本山興福寺。約300年ぶりに再建される中金堂が来年秋に落慶の予定です。今回の再建では仏教に造詣の深い画家、畠中光享がその柱絵制作を担いました。その奉納に先立ち初公開するとともに、国宝を含む貴重な寺宝の数々を紹介します。

関連イベント
「左」畠中光享《無著菩薩》2016年 興福寺中金堂法相柱柱絵
「右」国宝《銅造観音菩薩立像(千手観音菩薩立像像内納入品の内)》奈良時代 8世紀 興福寺藏

料 金	一般 1,000円 高校・大学生 700円 中学生以下 無料
お問合せ	新潟市新津美術館 0250-25-1300

【主催】法相宗大本山興福寺、日本経済新聞社、BSジャパン、興福寺の寺宝と畠中光享展新潟展実行委員会、新潟市新津美術館、新潟日報社、NST

ブランキングアート展 2017 再生の芸術祭

9/7(木)～11/30(木)
燕三条Wing (燕三条駅構内) 10:00～18:30
燕三条地場産業振興センター 8:30～17:15

ブランキングアートとは製造工程で排出される事業排出物(ブランク材)などを用いたアート作品です。作家の創意工夫により新しい作品に生まれ変わらせることで「モノづくりの心と技」の表現を燕三条から発信します!

料 金	入場無料
主 催 お問合せ	ブランキングアート展実行委員会 0256-36-4123

星野暁展

11/10(金)～12/10(日) ギャラリーみつけ
10:00～22:00 (入館は21:30まで) 月曜休館

見附市出身の現代陶芸作家、星野暁をご紹介します。見附市文化ホールアルカディアの陶壁も手掛けるなど、地元はもちろん、国内外で活躍する作家です。黒陶による原始世界の表現や自然の驚異を表現した陶作品の大型のインスタレーションを中心に展示します。県内初の大規模展をお楽しみください。

関連イベント
星野暁展ギャラリートーク
11/11(土)、12/9(土)
各日14:00～15:00 参加無料(申込不要)

料 金	入場無料
お問合せ	ギャラリーみつけ 0258-84-7755

【主催】見附市



平成29年度 文化庁 文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業

新潟県次世代の舞台芸術担い手育成事業

県内の文化施設等からなる「次世代の舞台芸術担い手育成事業実行委員会」では、子どもたちが優れた文化芸術に気軽に触れることができる機会を積極的に提供し、次世代の舞台芸術を担う人材を育成するため、県内各地で公演を実施します。この事業には文化庁の「文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業」を活用しています。

<参加団体>

糸魚川市民会館・魚沼市小出郷文化会館・柏崎市産業文化会館・上越文化会館・新潟市北区文化会館・見附市文化ホール アルカディア・南魚沼市民会館・りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館・新潟県・(公財)新潟県文化振興財団

古典・伝統

鼓童交流公演

9/2(土) 14:00
胎内市産業文化会館

9/3(日) 14:00
長岡市寺泊文化センター

9/23(土・祝) 14:00
西山ふるさと館

9/24(日) 14:00
はーとぴあ中郷



太鼓の魅力が五感で感じられる舞台。太鼓体験コーナーや楽しいトークが人気!

料金 全席自由 2,000円(当日500円増) 中学生以下 無料(要入場整理券)
※5歳未満の入場はご遠慮ください。

お問合せ 胎内市産業文化会館 0254-43-6400 長岡市寺泊文化センター 0258-75-5155
西山ふるさと館 0257-48-2839 はーとぴあ中郷(上越文化会館) 025-522-8800

コンサート

シエナの響きシリーズ (シエナ・フォレスト、シエナ・ブラス5)

9/10(日)・2018/1/28(日)
各13:30 上越文化会館 大ホール

日本で一番人気の吹奏楽プロ集団、シエナ・ウインド・オーケストラの小編成コンサート。木管、サクソ、金管のアンサンブル・ワークショップとバーカッション・ワークショップも実施。テクニックを高める事で音楽の面白さをより感じ、地域全体の音楽が華やくことが期待されます。出演:シエナ・ウインド・オーケストラメンバー



料金 全席自由 1,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 上越文化会館 025-522-8800

コンサート

託児あり

オーケストラによる ドリームコンサート ~ジブリの思い出がいっぱい~

9/16(土) 14:00 糸魚川市民会館

スタジオジブリ作品の名曲ばかりを歌とオーケストラでお届けする夢のコンサート。初めてジブリのキャラクターたちと出会った時のあの感動がよみがえる!
出演:ジャパン・ドリーム・オーケストラ
特別出演:上村叶恵、inori、Hanami(歌)、塚田隆雄(指揮)
曲目:天空の城ラピュタより「君をのせて」、となりのトトロより「さんぽ」「となりのトトロ」、崖の上のポニョより「崖の上のポニョ」他
※曲目は変更になる可能性があります。



料金 全席指定 一般 2,500円 高校生以下 1,500円(当日各500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 糸魚川市民会館 025-552-5900

ミュージカル・演劇・舞踊

託児あり

劇団四季ファミリーミュージカル 『嵐の中の子どもたち』

10/21(土) 15:30
糸魚川市民会館

11/3(金・祝) 15:30
魚沼市小出郷文化会館

18人の子どもたちが繰り広げる友情と勇気が詰まった冒険物語。



これまでの公演より 撮影:山之上雅信

料金 全席指定 3,500円 高校生以下 2,000円
※3歳以上有料、3歳未満の入場はご遠慮ください。

お問合せ 糸魚川市民会館 025-552-5900 魚沼市小出郷文化会館 025-792-8811

コンサート

託児あり

北区音楽文化の祭典 新潟市北区文化会館

11月を音楽公演で彩る「北区音楽文化の祭典」。3週にわたってコンサートや音楽祭を開催します。北区地域に音楽文化が根付くことを願って、気軽に楽しめるプログラムとなっています。

北区音楽祭2017

11/12(日)
出演:市民の皆様



料金 入場無料(要整理券)

お問合せ 新潟市北区文化会館 025-388-6900

ファミリーコンサート

11/19(日)
出演:星野勝彦(指揮)、
北区フィルハーモ
ニー管弦楽団



料金 大人 1,000円 4歳~中学生 500円
※4歳未満の入場はご遠慮ください。

3公演セット券 大人 4,000円 小・中学生 2,000円

大谷康子と仲間たち

11/25(土)
出演:大谷康子、西本幸弘、
市坪俊彦、ドミトリー・
フェイス、門脇大樹
他



料金 大人 3,800円 小・中学生 1,900円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

コンサート

9/10(日) 発売開始

佐渡裕指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会2017

12/10(日) 15:00 南魚沼市民会館 大ホール

大人気の佐渡メシエナが南魚沼に登場!吹奏楽の超有名曲や心温まるクリスマス・ソングなど、特別なクリスマス・コンサートです。



出演:佐渡裕(指揮)、キウ・ウォン・ハン(バリトン)、シエナ・ウインド・オーケストラ
曲目:A.リード/アルメリアン・ダンス(全曲)、R.ジェイガー/シンフォニア・ノビリッシマ 他(予定)

料金 S席 7,000円 A席 6,000円 高校生以下 3,500円
※未就学児の入場はご遠慮ください。高校生以下は、南魚沼市民会館のみでの取り扱い。

お問合せ 南魚沼市民会館 025-773-5500

ミュージカル・演劇・舞踊

託児あり

9/16(土) 発売開始

小川未明 朗読とフラメンコ

12/23(土・祝) 14:00 上越文化会館 大ホール

地元・上越市出身であり「日本のアンデルセン」と呼ばれる児童文学作家の小川未明作品を幅広い世代に親しみ感じてもらうための3ヶ年計画事業の2年目となります。オーディションで選んだ子供達の朗読と、プロの朗読や、日本トップクラスのフラメンコ舞踊団による創作フラメンコ(初演)を披露します。



創作フラメンコ「赤い風船と人魚」より 写真/川島浩之

朗読:大和田伸也・大手町小学校6年生
出演:鍵田真由美・佐藤浩希フラメンコ舞踊団

料金 全席自由 2,000円 高校生以下 500円
※4歳未満入場不可 4歳以上要チケット。(予定)

お問合せ 上越文化会館 025-522-8800

ミュージカル・演劇・舞踊

託児あり

開館25周年記念公演 市民ミュージカル『夏の夜の夢』プレビュー公演

2018/2/4(日) 見附市文化ホール アルカディア

2018年見附市文化ホール開設25周年記念事業のひとつ、市民ミュージカル『夏の夜の夢』の創作準備として、舞台俳優に必要な発声、表現技術を学び、プレビュー公演を開催します。

講師:栗田芳宏



料金 未定

お問合せ 見附市文化ホール アルカディア 0258-63-5321

コンサート

託児あり(柏崎公演のみ)

メンバーによる楽しいトークも人気! N響メンバーによる弦楽四重奏

12/16(土) 14:00
燕市文化会館

12/17(日) 13:00
柏崎市文化会館 アルフォーレ

ゲスト・コンサートマスターに永峰高志を迎え、クラシックの名曲や映画音楽、宮崎アニメなど多彩にお届けします。
出演:永峰高志(元N響第2ヴァイオリン首席奏者)、船木陽子(ヴァイオリン)、飛澤浩人(ヴィオラ)、村井将(チェロ)



永峰高志写真/©Naoko Nagasawa

料金 全席自由 2,000円(当日500円増) 中学生以下 無料(要入場整理券)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 燕市文化会館 0256-63-7002 柏崎市文化会館 0257-21-0010

ミュージカル・演劇・舞踊

託児あり

10/29(日) 発売開始

かがみのかなたはたなかのなかに

2018/1/7(日)・1/8(月・祝) 各日14:00
りゅーとぴあ 劇場

合わせ鏡の中の自分、うまくいかない恋、はがれ落ちない孤独感... 未来のおとんと、かつての子どもたちへ向けておくりする、少しビターで、少しファンタジックで、そして少しアイロニカルな物語。



撮影:谷古正彦

作・演出:長塚圭史 振付・音楽:近藤良平
出演:近藤良平、首藤康之、長塚圭史、松たか子

料金 大人 5,000円 子ども(小学生~高校生) 2,000円
親子ペア 6,000円 U25シート 2,500円

お問合せ りゅーとぴあチケット専用ダイヤル 025-224-5521

ミュージカル・演劇・舞踊

託児あり

りゅーとぴあ演劇スタジオ キッズ・コース APRICOT 2018春季公演

2018/3/17(土)~3/20(火)
りゅーとぴあ スタジオA

APRICOTメンバーが演出を担当し、子どもならではのアイデアとユーモアで創作した作品を上演します。エネルギーあふれるお芝居をお楽しみください。
監修:戸中井三太、内堀照子、西海明美
演出:出演:APRICOTの子ども達



APRICOT2017春季公演「お芝居探検隊2017」より

料金 入場無料(要申込)
※4歳未満入場不可

お問合せ りゅーとぴあチケット専用ダイヤル 025-224-5521

マイタウン・コンサート2017

新潟県出身・在住の演奏家による
お話付きの楽しいコンサートを
県内各地にお届けします！
どうぞお楽しみください。

10/7(土) 19:00 さんぽく会館

フルートとハーブが織りなす
旋律と響き。次代を担う
若き二人の美しいハーモ
ニーをどうぞお楽しみくだ
さい。

出演:山宮るり子(ハーブ)
金子由香利(フルート)



お問合せ さんぽく会館 0254-77-3798

9/16(土) 14:00 まつのやま学園

テレビドラマで話題となった「カルテッ
ト」。主役の4人が演奏しているシー
ンの実際の演奏を担当していたカル
テットパパスのみなさんの登場です。

出演:QUARTET PAPAS
カルテットパパス
粟津淳(ヴァイオリン)
青山英里香(ヴァイオリン)
武田麻耶(ヴィオラ)
奥村景(チェロ)



Photo by KEIKO TANABE

お問合せ 十日町市生涯学習課(中央公民館内) 025-757-8918

11/18(土) 14:00 新発田市生涯学習センター

新潟県内外で活躍する「新潟ARS NOVA 木管五重奏団」とピアノ
によるスペシャル編成でお贈りします。

出演:新潟ARS NOVA
木管五重奏団
市橋靖子(フルート)
広瀬寿美(クラリネット)
金子いつか(オーボエ)
小武内茜(ファゴット)
宮野大輔(ホルン)



品田真彦(ピアノ)

お問合せ 新発田市生涯学習センター 0254-26-7191

平成29年度文化活動支援助成団体決定 平成29年度 県民文化活動推進事業 は下記の通り決定しました。

	申請団体名	団体所在地	事業名	開催日	会場
県民文化活動推進事業	見附市(市民ギャラリー)	見附市	奥村拓郎 彫刻展	4/26~5/7	みつけ市民ギャラリー
	越の国室内合唱団 VOX ORATTA	長岡市	越の国室内合唱団 VOX ORATTA 第2回演奏会	5/13、14	長岡リリックホール
	面怡会	新潟市	第30回面怡会能面作品展並びに吉川花意能面作品展	5/31~6/4	NSTギャラリー
	奥阿賀・魅力ある野外舞台実行委員会	阿賀町	第2回奥阿賀魅力ある野外舞台開催事業	7/29	阿賀町豊天下野
	魚沼バイオリンランドクラブ	魚沼市	「ありがとう IN 魚沼」魚沼バイオリンランドクラブ20周年 ~魚沼バイオリンランドクラブ&魚沼混声合唱団との合同演奏会~	8/20	魚沼市小出郷文化会館
	ながおか映画祭アケルナル実行委員会	新潟市	ながおか映画祭合同企画公演 「アケルナル~星の願い、夢の音色~」	9/15、16	長岡リリックホール
	うおぬまマイオータムコンサート2017 実行委員会	魚沼市	マイオータムコンサート2017	9/24	魚沼市小出郷文化会館
	上越市民芸能祭協議会	上越市	上越市民芸能祭「高田公園オーレンブラザこけら落とし公演」	10月	(仮称)厚生産業会館
	伝統芸能継承詩吟剣詩舞連盟	三条市	吟舞の祭典	11/23	長岡リリックホール
	見附市(見附市文化ホール アルカディア)	見附市	行ってみよう!! アルカディア春の音楽会(仮称)	H30年3月	見附市文化ホール アルカディア
県民文化活動推進事業(追加募集分)	ジャズ@アルカディア・オーケストラ実行委員会	見附市	ジャズ@アルカディア・オーケストラ 第3回定期演奏会	8月~H30年2月	見附市文化ホール アルカディア
	新潟ドルチェ・マンドリン・アンサンブル	新潟市	新潟ドルチェ・マンドリン・アンサンブル 第43回定期演奏会	8/26	新潟市音楽文化会館
	ハロー!ボックス実行委員会	佐渡市	ハロー!ボックス2017	9/16、17	佐渡旧川茂小学校
	上越交響楽団	上越市	上越交響楽団創立45周年 第79回定期演奏会	9/17	上越文化会館
	新潟の宝 実行委員会	新潟市	新潟の宝第一弾 佐渡の能舞台から高橋竹山津軽三味線コンサート	9/26	佐渡椎崎能舞台
	公益財団法人 池田記念スポーツ文化財団	南魚沼市	八色の森の美術展+八色の森の子ども絵画展2017 -未来に繋ぐ絵画考-	10/8~11/21	池田記念美術館
	社会福祉法人 みんなでいきる	上越市	第3回 アールブリュット展 in 上越	11/18~11/23	町家交流館高田小町/昔ミュージアム/旧今井染物屋
	妙高フォト・コミッション	妙高市	「全国の人たちと妙高の人たちが見た妙高の魅力(仮題)」展 -妙高フォト・コミッション主催撮影会10周年記念展覧会-	11/19~11/26	あらい道の駅くびき野情報館
	劇団 K.O.T.N	新潟市	劇団 K.O.T.N 第一回公演「卵の中の白雪姫」(予定)	H30年2月	長岡リリックホール
	柏崎音楽協会	柏崎市	柏崎音楽協会設立20周年記念「グロリア」演奏会	H30年3/4	柏崎市文化会館アルフォーレ
三清会	十日町市	唄と踊りの誘い	H30年3/25	越後妻有文化ホール十日町中央公民館「段十ろう」	

Culture Niigata

- 発行回数 年4回(5月、8月、11月、2月)
- 発行部数 15,000部
- 配布先 市町村、公民館、文化施設、金融機関、大学等

- 発行 公益財団法人 新潟県文化振興財団
- TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818
- E-mail jigyou@niigata-bunka.jp WEB http://www.niigata-bunka.jp
- Address 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-13

「カルチャーにいがた」送付について

「カルチャーにいがた」をご希望の方には郵送料費にてお送りしています。
住所、氏名、希望する部数を明記の上、返信用切手(140円/1冊)を添えて、新潟県文化振興財団までお申し込みください。
複数冊ご希望の場合はお問い合わせください。

— シリーズ —

URAKATA

裏を語る

舞台裏から、芸術の新たな魅力を発信!



(株)北前船 広報宣伝部 部長

西田 太郎

舞台をつくっているのはアーティストだけではない。
音楽・文化・芸術をもっと身近に感じてもらうため
ここでは裏方で活躍する人々をご紹介します。
第九回目は「広報・宣伝」の仕事について
北前船の西田太郎さんに聞いた。

圧倒的な太鼓のパワーに惹かれ 鼓童の企画制作会社へ転職

7月上旬。梅雨明け前だというのに強い日差しが照りつける午後、東京・浅草公会堂では鼓童「若い夏」昼公演が始まろうとしていた。午後1時30分開場とともに受付のあるロビーフロアは瞬く間に人で溢れかえる。鼓童の人気ぶりを象徴する光景だ。その様子を静かに見守る、背の高いスーツ姿の男性がいた。佐渡を拠点に国内外で活動する太鼓芸能集団「鼓童」の広報と宣伝を担当する、西田太郎さんだ。

大阪に生まれ京都で育った。大学卒業後、出版社へ入社。約2年経った頃、「佐渡の鼓童」(太田順一著)という写真集と出会う。

「佐渡という伝統的な場所を拠点に世界的に評価を受けているグループがあると初めて知って興味を持ち、CDを買って聴いたらこれがいよいよ今まで聴いたことのない圧倒的な音から、人種や国をも越えるパワーを感じました。その後、舞台を観に行ったらまた感動。大阪に来るたびに観に行きました。」公演パンフレットに鼓童の企画制作会社の「スタッフ募集」の広告があった。ダメ元で応募したら合格。それを機に出版社を辞め、佐渡に移住、転職した。

「それまでの25年間、関西圏から出たことがなかったのに、佐渡で暮らすのもいいなと思ったのと、前の会社では仕

事の心構え、コミュニケーション、トラブルの乗り越え方などをしっかり叩き込んでもらったので、そろそろそれらを自分の感覚で試せる場所で働きたいと考えていたこともあり、転職を決意しました」

入社して最初は国内の公演制作業務を担当。具体的には国内ツアーの段取り、主催者との交渉、公演現場に立ち会う仕事だった。

「現場では鼓童が世間からどう見られているかを把握できて良かったです。お客様が満足されている表情を見て、鼓童を聴いたことで何か光を感じ、力を得ていただけたんだと感じることができたのは、新米の私にとって非常に意義のある経験でした」

当時の鼓童はまだ規模も小さかったため、国内公演制作のかたわら、広報誌の編集や販促物の制作などといった広報と宣伝の仕事も兼務していた。そうして20年ほどいろいろな業務を経験した後、すべてを統括する立場となり、さらに広報と宣伝に特化すべく2013年、現職に至った。

鼓童の魅力を広く伝えるのが 広報のミッション

広報とは一般的にテレビや雑誌・新聞の記事といったメディアを活用して、自社の様々な活動をPRすること。鼓童も

常に“今”の鼓童の魅力を 感じてもらえるよう伝えていきたい

鼓童「若い夏」公演 お客様をお迎えしている様子。浅草公会堂

同じで様々なメディアを通して鼓童の魅力を広く発信することが主な業務だ。

「鼓童のメンバーを取材していただく機会が多いのですが、その際に彼らがどう話すかで鼓童の印象も決まってくる。そのため事前にどういう意図の取材なのかを説明し、鼓童の魅力をあなたの言葉で話してくださいとメンバーに伝えています」

お客様からの意見やクレームに対応するのも広報の任務。海外公演が公演活動の半分を占めるため、世界中から様々な意見、感想、要望が届くと言う。

「特に海外の方々は多様な価値観を持っておられます。ですから、あらかじめ用意した言葉をそのまま伝えるのではなく、相手の側に立ってお気持ちに届くように答えるようにしています。クレームや厳しいご意見に対しては、一度相手の考えを受け止めてから、感情を害さないようにしつつ、こちらの考え方をしっかり伝えるように心がけています」

「初日の幕は上がるんだから」 玉三郎さんの言葉に動かされて

鼓童の公演数は大小合わせて年間200回以上、ソロ活動やワークショップなども入れると250回以上になる。

「鼓童は誕生して36年になります。活動の幅が広いです

し、公演の内容もさまざまですので、鼓童に抱かれる印象もそれぞれ違うと思いますが、いつも“今”の鼓童の魅力を感じてもらえるよう伝えていきたいです」

そのために何をしなければならぬのか？西田さんは常にそのことを考えてきたつもりだったが、より意識するようになったのは鼓童の芸術監督を務められたこともある歌舞伎役者、坂東玉三郎さんとの出会いのおかげだと語る。

「玉三郎さんは頭の切り替えが早く、矢継ぎ早にアイデアを次々出され、猛スピードで舞台を組み上げていく。その姿に圧倒的なエネルギーを感じました。また、あるとき『だって初日の幕は上がるんだから』とつぶやかれたことがありました。くよくよしては間に合いません。お客様に喜んでもらえる舞台にすることを毎日真剣に考えている方だけに非常に説得力を持って僕の胸に刺さったんです。以後、それまで以上に覚悟を持って“今、すべきこと”を考え、仕事を進めるようになりました」

暮らしの中に芸能が息づく佐渡で 鼓童を世界に伝える幸せ

広報宣伝は他の職種に比べて表立って評価されることが少ない仕事だ。例えば、舞台が満席となり観客の満足度

も高かったとしても、それは鼓童メンバーパフォーマンスが素晴らしいからであって、なかなか「広報宣伝担当者の動きが良かったお陰」とはならない。

「でも、そこに至るまでの過程の随所に様々な人との出会い、喜びがあるし、達成感もありますから」

幼い頃、地元で大阪万博が開催された。世界中から来たいろいろな国の人たちが晴れやかに自国をPRしていた姿が目についた。その時の記憶が今につながる原点だと、取材の最後に西田さんは明かしてくれた。

「いつか自分たちの文化を、誇りを持って伝えられたら子どもながらに感じたんです。その思いの延長線上として今がある気がしています。また、佐渡の懐の深さには本当に感心させられます。江戸時代に広まったお能が今も盛んであったり、島の至るところでお祭りがあったり。これほど暮らしに芸能が溶け込んだ、文化的に豊かなところって他にはありません。そんな佐渡を拠点に、太鼓という伝統ある文化を世界へ伝えられることが言い尽くせないほどうれしい。仕事以前にかけがえのない体験をさせていただいていると感じています」

最近になり、自身が積み重ねてきた経験と思いをそろそろ次代へ伝えたいと考えるようになった。

「スタッフを募集しています。好奇心旺盛な方ならやれます。ぜひ鼓童の扉を叩いてみてください」

次号-シリーズ-URAKATAはホール管理にスポットをあてます。



(株)北前船 広報宣伝部 部長 西田 太郎

1967年大阪府生まれ。大学卒業後、出版社勤務を経て1992年、太鼓芸能集団「鼓童」の企画制作を行う株式会社北前船に入社。以来、国内公演制作、広報宣伝、商品開発、編集などの業務を経て、2013年より広報宣伝部部長になる。国内・海外ツアーのプロモーションをはじめ、メディアや企業との協働、ファウンダレイジングなど、鼓童グループの多岐にわたる広報と宣伝の活動に携わる。

公演情報

「鼓童交流公演」

9/2(土) 胎内市産業文化会館 9/3(日) 長岡市寺泊文化センター
9/23(土・祝) 西山ふるさと館 9/24(日) はーとびあ中郷
※詳しくはP9をご覧ください。

「鼓童 打男DADAN 2017」

11/27(月) 新潟県民会館 11/30(木) アミューズメント佐渡
※詳しくはP7をご覧ください。